



福の神 運営推進会議議事録



日時：令和2年2月10日(月) 13:30~15:00

議事録作成：池田

場所：福の神 1階地域開放室

参加者：●運営推進会議会長 窪田様 ●運営推進会議副会長 上野様 ●よき地区会長連合会会長 中村様 ●金丸出町民生委員 服部様
 ●金丸出老人会会長 木谷様 ○利用者ご家族様 坂井様 ○地域ボランティア 高沢様 ●地域ボランティア 山田様
 ※白〇は欠席 ○地域ボランティア 西田様 ○大町町会長 上野様 ●羽咋市介護高齢者係長 保志場様 ○羽咋市地域包括支援職員 谷様
 ●弘和会理事長 畝 ●羽咋事業部部長・TH管理者 森川 ●GH・共用デイ・コールナウ福の神管理者 北出
 ●ケアサービス夢の華管理者 南口 ●地域支え愛 村友管理者 宮中 ●地域支え愛倶楽部 村友管理者 井上 ●事務 池田



以上14名

報告：① 利用者登録状況報告

ぐるーぷほーむ福の神 介護区分別利用者状況

| | R1.12月 | R2.1月 | 区分 | 人数 | 割合 |
|------|--------|--------|------|----|--------|
| 計画 | 1 | 0 | 要支援2 | 0 | 0.0% |
| 累計計画 | 19 | 18 | 要介護1 | 0 | 0.0% |
| 実績 | 1 | 0 | 要介護2 | 6 | 33.3% |
| 累計実績 | 18 | 18 | 要介護3 | 5 | 27.8% |
| 契約解除 | 1 | 0 | 要介護4 | 3 | 16.7% |
| 予約者 | 22 | 23 | 要介護5 | 4 | 22.2% |
| 進捗率 | 94.7% | 100.0% | 合計 | 18 | 100.0% |

●ぐるーぷほーむの身体拘束適正化報告

ホーム内での身体拘束はございませんでした。



共用デイ福の神 介護区分別利用者状況

| | R1.12月 | R2.1月 | 区分 | 人数 | 割合 |
|---------|--------|-------|------|----|--------|
| 計画(延人数) | 132 | 126 | 要支援1 | 1 | 9.1% |
| 実績 | 97 | 112 | 要支援2 | 1 | 9.1% |
| 計画(人) | 1 | 1 | 要介護1 | 2 | 18.2% |
| 累計計画 | 21 | 22 | 要介護2 | 4 | 36.4% |
| 登録累計(人) | 9 | 11 | 要介護3 | 1 | 9.1% |
| 新規 | 0 | 2 | 要介護4 | 2 | 18.2% |
| 契約解除 | 0 | 0 | 要介護5 | 0 | 0.0% |
| | | | 合計 | 11 | 100.0% |



たきのーほーむ福の神 介護区分別利用者状況

| | R1.12月 | | | R2.1月 | | |
|------|--------|--------|-------|-------|------|------|
| | 計画 | 実績 | 割合 | 計画 | 実績 | 割合 |
| 計画 | 0 | 0 | 0.0% | 0 | 0 | 0.0% |
| 累計計画 | 29 | 29 | 0.0% | 0 | 0 | 0.0% |
| 実績 | 0 | 0 | 27.6% | 47 | 553 | 5 |
| 累計実績 | 29 | 29 | 48.3% | 206 | 191 | 49 |
| 契約解除 | 0 | 0 | 24.1% | 126 | 52 | 35 |
| 予約者 | 4 | 5 | 0.0% | 0 | 0 | 0 |
| 進捗率 | 100.0% | 100.0% | 0.0% | 0 | 0 | 0 |
| | | | 0.0% | 379 | 796 | 89 |
| | | | 0.0% | 412 | 398 | 105 |
| | | | 0.0% | 12.2 | 25.7 | 2.9 |
| | | | 0.0% | 13.3 | 24.5 | 3.4 |

コールナウ福の神 介護区分別利用者状況

| | R1.12月 | R2.1月 | 区分 | 人数 | 割合 |
|------|--------|-------|--------|----|--------|
| 計画 | 2 | 2 | 要支援1 | 0 | 0.0% |
| 累計計画 | 40 | 42 | 要支援2 | 0 | 0.0% |
| 実績 | 1 | 0 | 要介護1 | 9 | 60.0% |
| 累計実績 | 15 | 15 | 要介護2 | 3 | 20.0% |
| 契約解除 | 2 | 0 | 要介護3 | 1 | 6.7% |
| 予約者 | 1 | 2 | 要介護4 | 1 | 6.7% |
| 進捗率 | 37.5% | 35.7% | 要介護5 | 1 | 6.7% |
| | | | その他更新中 | 0 | 0 |
| | | | 合計 | 15 | 100.0% |

ボランティア受け入れ状況

| | 人数 | 延べ人数 |
|--------|----|------|
| R01.6 | 29 | 33 |
| R01.7 | 13 | 21 |
| R01.8 | 21 | 16 |
| R01.9 | 29 | 21 |
| R01.10 | 14 | 19 |
| R01.11 | 19 | 22 |
| R01.12 | 6 | 18 |
| R02.1 | 4 | 16 |



③日々の活動報告ダイジェスト



志賀町フローリィ



上野様宅もちつき



初詣



お正月 お屠蘇

たきのーほーむ風和里 介護区分別利用者状況

| | R1.12月 | | | R2.1月 | | |
|------|--------|--------|-------|-------|------|------|
| | 計画 | 実績 | 割合 | 計画 | 実績 | 割合 |
| 計画 | 3 | 2 | 0.0% | 0 | 0 | 0.0% |
| 累計計画 | 18 | 18 | 5.6% | 6 | 3 | 0.0% |
| 実績 | 2 | 2 | 55.6% | 57 | 183 | 14 |
| 累計実績 | 16 | 18 | 16.7% | 57 | 44 | 6 |
| 契約解除 | 1 | 1 | 11.1% | 17 | 120 | 0 |
| 予約者 | 1 | 1 | 5.6% | 1 | 6 | 1 |
| 進捗率 | 88.9% | 100.0% | 5.6% | 31 | 0 | 31 |
| | | | 0.0% | 169 | 356 | 52 |
| | | | 0.0% | 5.5 | 11.5 | 1.7 |
| | | | 0.0% | 5.7 | 11.7 | 2.5 |

② *ライフサポート村とも就労定員状況報告

| | R1.12月 | R2.1月 |
|--------|--------|-------|
| 利用計画 | 374 | 374 |
| 登録者数 | 23 | 25 |
| 新規獲得 | 1 | 2 |
| 中止者数 | 1 | 1 |
| 延べ利用者数 | 306 | 285 |
| 開所日数 | 22 | 22 |
| 日平均 | 13.9 | 13.0 |

| 年齢別表 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 0 | 5 | 3 | 7 | 5 | 5 | 25 |

| 男女比 | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| | 18 | 7 | 25 |

地域支え愛倶楽部 村とも報告

*移送サービス 利用者区分

| | | | | |
|---------|------|-------|-------|-----|
| 登録者数 | 77名 | 新規1名 | 障がい者 | 11名 |
| 利用延べ人数 | 112名 | (月平均) | 事業対象者 | 5名 |
| 日平均利用人数 | 6名 | (月平均) | 要介護者 | 38名 |
| | | | 要支援者 | 23名 |
| | | | 体操教室 | 5名 |

*訪問サービス～高齢者宅での生活支援サービス～

| | |
|--------|--------------------------|
| 利用者人数 | 7名 |
| 性別 | 男1名 女6名 |
| 世帯 | 独居 |
| サービス内容 | 調理3名 掃除3名 買物代行2名 入浴見守り1名 |
| ヘルパー数 | ・有償ボランティア5名 |

*通所型サービ

| | 実参加人数 | | 参加延人数 | |
|--------|--------|-------|--------|-------|
| | R1.12月 | R2.1月 | R1.12月 | R2.1月 |
| 参加者 | 11名 | 11名 | 25名 | 38名 |
| ボランティア | 6名 | 6名 | 14名 | 18名 |

④小規模多機能型居宅介護 全国大会 報告

利用者様の事例を報告 様々なトラブルを迎え、利用者様の本当の願いを叶えるための試行錯誤を通し、利用者様の「家を守りたい」「家族を守りたい」という思いに気づき、寄り添えた事例を全国大会で報告しました。

⑤社会福祉HERO'S 活動報告

2019年12月社会福祉の現場でさまざまな挑戦をしている若手スタッフたちの熱い想いを伝えるイベント、「社会福祉HERO'S TOKYO 2019」へ石川県代表として出演しました。弘和会で活動している農福連携、能登インクルーシブファーマーズプロジェクトの活動など紹介。自然栽培を通し、利用者さんの閉ざされていた心が徐々に開かれていく過程を紹介しました。

⑥小規模多機能型居宅介護サービス評価



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|----------------|-----|-------------|---------------|--|
| 法人名 | 社会福祉法人弘和会 | 代表者 | 理事長 畝 和弘 | 法人・事業 所の特徴 | 1.地域に愛される事業所になれるよう地域のイベントに積極的に参加しています。 2.介護が必要な方が安心して利用できる様オーダーメイドの介護を提供しています。 3.認知症と言う病気の理解を深める為、外部の研修に出たり、内部で勉強会をしています。 4.認知症キャラバンメイトの資格を持った職員は積極的に地域や協力機関に出向き認知症のケアについての研修の講師をさせていただきます。また、まちの認知症相談員がいる 5.認知症を患っても、支えられる側ではなく地域の中で役割を持って生き活きできる時間を大切にします。 |
| 事業所名 | たきの一ほ一む 福の神 | 管理者 | 森川 みなこ | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----------|---------------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団 体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| | 1人 | 2人 | 6人 | 0人 | 1人 | 1人 | 0人 | 6人 | 0人 | 17人 |

| 項 目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|--------------------|---|--|---|---|
| A. 事業所自己 評価の確認 | 利用者一人ひとりの自己実現に向けてた取り組むことを目標とする そのために各項目ができなければ ならない。スタッフ会議棟等で9項目 の内容を確認し振り返る時間を作る。 小規模多機能の事業所として柔軟に 対応する | 月を決めて職員で振り返る時間を設け 自分たちは出来ているのか？を確認し た 認知症になっても地域で暮らしていけ るような取組みをし地域の方々にも 理解を得れるように取り組んだ | いろんなことを考えながらいる ことが分かった | 日頃私たちがどのような考え方で 利用者の支援をしているのかまた、 事例を通し取り組み等を運営推進 会議の場で発表する |
| B. 事業所のし つらえ・環境 | 気軽に立ち寄ってもらえるように、 地域交流会を開いて福の神を知っ ていただく。 | 2 カ月ごとに交流会を開き気軽に福の 神に来ていただけるように取り組んだ | 施設の中がどのような仕組みになっ ているかわからないところがある | 運営推進会議のメンバーの方々に 事業所の中を説明しながら見学して いただく 交流会などの行事は福の神通信 などを用いて地域の方々に周知す る |
| C. 事業所と地 域のかかわり | 開かれた事業所を目指す。地域の行 事に参加。また、認知症カフェ・地 域交流会など通じて相談しやすい 関係づくりをする 福の神が地域の一員として地域の 伝統や文化を一緒につなげていく | 認知症カフェ・地域交流会などを通し 相談を行っている 地域での当番や行事は必ず参加してい る 地元の小学校の活動に参加している | まちの認知症相談員がいることを 知らなかったのが、老人会や民生 委員の方々へ会合に出てもら い話をしてもらいたいとの要望 あり | 福の神通信を活用して困りごと が相談できることを載せる 各町会の老人会の会合に出てま ちの認知症推進員の活動を報告 する 地域とのかかわりを大切にしよう 関係づくりができるようにする |

| | | | | |
|-------------------------------------|---|--|-----------------------|---|
| D. 地域に出向 いて本人の暮ら しを支える取組 み | 今後は利用者の地区の民生委員と 情報の共有ができるように連絡を 密にする 認知症になっても地域で暮らし続 ける仕組みを考える 利用者一人ひとり今まで大切に してきたことなどを支援する | 事例を紹介し支援の取組みを発表し た また、利用者の地元での支援を行 い認知症への理解に取り組んだ | DVD を観ればわかった | 福の神にはまちの認知症相談員 がいることを通信で周知する 運営推進会議や民生委員の方々に 心配な方がいないか情報収集す る 利用者それぞれの地域に出向き つながりをこれからも継続して いけるように理解を求める |
| E. 運営推進 会議を活かした取 組み | 会議の場で地域に困った方がいな いか情報収集する 事業所の行事などをメンバーの 方々に協力の声掛けをする | 事業所の行事や避難訓練など協力を 得られた | 行事はもう少し早くにわかると 良い | 地域に問題があれば一緒に考え ていけるようにする 行事の参加については早めにお 知らせする (運営推進会議に次の行事の予 定をお知らせする) |
| F. 事業所の防 災・災害対策 | 引き続き町の防災訓練には利用者 と一緒に参加する 避難訓練の計画は早めに立てて地 域の方々に参加してもらえよう にする | 避難訓練の計画は遅くても2週間前 までにする | 防災計画があることを知らな かった。 | 福の神の防災計画については年 度の初めにメンバーの方々に配 布する 避難訓練は早めにお知らせする |